

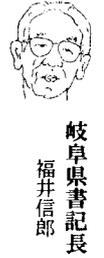
75歳という
トシを重ねたら
つけられた！
差別でねえか！



四季彩々

NO. 19 2008年2月号
発行 全日本年金者組合 岐阜県本部
岐阜市美江寺町2-1 教育会館内
編集責任者 上 宗治
土岐市妻木町3247-195 TEL 0572-57-3250

運動・楽しまを喜び仲間を大切に



岐阜県書記長
福井信郎

昨年、「年金者一揆二〇〇七」を成功させ、「仲間ふやし秋の強化月間」でも一定の前進を見ることができました。十一月・十二月の間では、三十四名の仲間を迎えましたが、その半数以上が多治見支部の奮闘です。何よりも特筆すべきことは、多治見支部が、目標を超過達成したこと。そこから学ぶべきことは多々ありますが、その一つに「目標をやり遂げよう」という執念の大切さがあります。

念の大切さがあります。大きく発展させましょう。残された私たちの最大の責務であると思います。「最低保障年金制度実現」「後期高齢者医療制度の中止・撤回」

初めのころは、この目標は遠くかすんでいましたが、今は、段々はつきりし、射距離内に近づいてきました。目標を棚上げせずに、目標への執念を持ち続けましょう。

しかし、残念なことですが、今年に入ってから、先輩や仲間の何人かの方が他界されました。

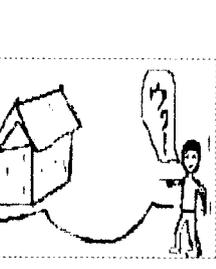
心からご冥福をお祈りすると共に、その方々の志を受け継ぎ、なぐられた方々の二倍三倍の仲間をふやし、運動を広げましょう。

今、一人でも多くの仲間をふやし、新しい情勢を創り出すことが求められています。運動しながら仲間をふやし、楽しみながら仲間をふやし、仲間をふやしなから運動を広げ、楽しみを広げましょう。

紙芝居での訴え

これからは起きうる町の被害問題として、難しい自治体交渉、書類による交渉、法律による問題などに対応されています。県交流集会で発表された、紙芝居を下に紹介いたします。

亜炭廃坑による被害
一月末に朝日・岐阜の両新聞に大きく報道されました。テレビでも取上げられました。太平洋戦争前後に国策として亜炭燃料を大量に掘り生産されてきました。御嵩町は住宅地の約8割が地下に廃坑があり、佐々木宏さんは町役場や県に被害対策、保障を求め活動されています。



① ウワー 大変だ！
一体どうしたんですか？
何と目に入ってきたのは地面の巨大な陥没であった。それは去年の9月19日に予告もなく起きたのであった。地震のような、揺れとともに地面が大きく、すり鉢状に落ち込んだのであった。いわゆる「陥害」による被害である。ここは岐阜県御嵩町、かつて柳川町長襲撃事件で脚光を浴びた町である。

② その日、佐々木さんは家に居た。町役場に連絡すると直ぐに担当職員がやってきた。その

御嵩町の陥害

して翌日ボーリング調査がおこなわれ、県より「亜炭廃坑による被害と認定されたのであった。しかし、被害は地面だけではなかった。佐々木さんの家（建物）そのものに及んでいた。その周囲の犬走りには数ミリ幅の亀裂が入り、コンクリートの基礎にもひび割れが生じていたのである。さらに点検してみると、柱が傾き床板や壁にも隙間が出来ていたのであった。

そのものであった。その後、余震もなく何事もなかったかのように終わったのである。外に出てみると畑が大きく陥没していたのだ。「陥害だ」佐々木さんは直感した。

④ 2ヶ月経つたときである。町の担当者が佐々木さん宅を来訪し次のように言った。「県当局と相談した結果、完全な復旧は難しい。地盤は埋め戻さないで空洞のまま、基礎はべた基礎にはしない。家をジャッキアップして柱等の狂いは元通りにしますが、それ以上の修復はしません。これが受け入れられなければ家は直しません」まるで脅しである。

要するに、金がない、あてはまる法律がないの一点張りであった。予定では、年明けに復旧作業に取り掛かるといいうが具体的な補修の目的は立っていない。もちろん当事者の佐々木さんには納得できない。とても承服できる話ではないのである。今日も小寒の隙間風が吹き抜ける佐々木さん一家である。

可児支部 佐々木 宏

「安心・安全・助け合い」

もうけ中心でない 労働共済に入りましょう

- ばく大な宣伝費にお金をかけず、家計を助ける労働共済です。テレビコマーシャルの多いA保険よりお得になる、あったかい共済です。
- 火災共済** (一口年60円で10万円の保証)
3000万円の保証で労働共済だと18,000円のかけ金
A損保だと38,000円、2万円おトク
 - 自転車共済** (家族型年 3000円のかけ金)
入院 1日 2000円の保障
通院 1日 1000円の保障
 - 交通災害共済** (年1200円のかけ金)
死亡 200万円
入院 1日3000円
 - 行事スポット保険**
200円のかけ金でケガ、入院
1日3000円などもあり

4月に満期 継続の手続きがあります。案内出しますのでよろしくお願ひします。詳しくは各支部担当者、県担当者欄欄まで連絡ください。TEL/FAX 058-389-4336

- 5月15日
岐阜県年金者組合
第11回定期大会が
開催決定されました。
- 活動の総括と、運動方針が決まられます。同時に、新しい県役員の出発が行われます。県事務所までに次期県役員の立候補届けを募っています。
- #### 次期県役員の立候補者募集
- 県委員長 一名
 - 県副委員長 若干名
 - 県書記長 一名
 - 県書記次長 若干名
 - 県会計 一名
 - 県執行委員 若干名

訃報
全日本年金者組合 岐阜県本部
初代県委員長
岡本 靖さん 逝去
病氣療養中 1月28日 80歳
岐阜県年金者組合創立に中心的に尽力され、県年金者活動を確立されました。ご冥福を心からお祈りいたします。

全日本年金者組合 元岐阜支部長
村山 美代司さん 逝去
病氣療養中 2月6日 81歳
岐阜支部年金者組合で多大な貢献をしてこられました。
ご冥福を心からお祈りいたします。

この寒いのに、わざわざ寒いところに行く行くなーとでも冬はスキーを楽しんでいます。寒いほど引き締まった空気と当たります。目が覚めるような澄んだ純白の世界に宙吊りに移動するリフトに乗ります。あつち、こつちでスキーヤーが無心になつて滑っています。おどおどと滑る人、うまくなり楽しんでる人、急斜面をスイスイと滑る人。子どもや家族連れ、若いカップル、高齢者のカップル、いろんな人が滑ったり、休んだりしているのが一望できます。ここでは差別がありません。初心者の滑りを見ても軽蔑して見て、さげすんだ気持ちで見ている人はいません。うまく滑れるように一生懸命練習したことを思い出します。さらに同じ寒いゲレンデで白い息を出しながら滑っていることに一体感を感じます。毎日の生活の中では、なぜこのようにすがすがしい気持ちが生まれないのか。みんなの生活が、バラバラにされているからか、経済という尺度が重視され過ぎ、(収入で)格差が広がっているからか、と進んでいく自然の中でちっぽけな人間を感じ、そこで楽しみ合えば、人間らしい一体感、連帯感が深まるのになあ。自然とふれ合うウォーキング、登山、旅行、釣りなどを計画して人間の良さ、群れのよさを取りもどそうと思おう。

